

コミュニティ交通市民ワークショップ実施結果

1 参加者

(1) ワークショップ委員（職業・男女別構成）

職業		高校生	大学生	会社員・自営業	主婦・主夫	無職	計
性別	男性	0	3	1	0	5	9
	女性	3	0	1	8	1	13
合計		3	3	2	8	6	22

(2) アドバイザー

早稲田大学 環境総合研究センター

(3) 司会・進行

NPO 法人ネットワーク・せとっこ

2 ワークショップ概要

<第1回>

開催日時：平成 28 年 6 月 12 日（日） 午前 10 時～正午

開催場所：瀬戸蔵 4 階 会議室 4・5

参加人数：ワークショップ委員 20 名

内 容：公共交通の現状や先進事例などについての説明

ア 瀬戸市コミュニティ交通の現状（都市計画課）

・瀬戸市コミュニティバス、基幹バスの現状

・近隣市のコミュニティバス紹介

・全国のコミュニティ交通先進事例の紹介

イ 乗る人が本当に必要な地域公共交通をみんなで考える（早稲田大学）



<第2回>

開催日時：平成 28 年 7 月 31 日（日） 午前 10 時～正午

開催場所：瀬戸蔵 4 階 会議室 4・5

参加人数：ワークショップ委員 20 名

内 容：グループワーク

【前半】課題・問題点の出し合いとグルーピング

【後半】対策の出し合い



<第3回>

開催日時：平成 28 年 8 月 21 日（日） 午前 10 時～正午

開催場所：パルティせと 4 階 マルチメディアルーム

参加人数：ワークショップ委員 20 名

内 容：グループワーク、アイデア発表



3 アイデアまとめ

PR・情報発信

- 路線図・時刻表の工夫・改善（デザイン、観光やグルメ情報の掲載、地域・年代（対象）別に作成、乗り継ぎ情報などの掲載）
- 高校・大学生向けパンフレット作成を学生に依頼
- 広報せと、HPでのPR強化
- バス車両デザインの改善
- バス停のデザインの変更・文字サイズの拡大
- 路線名やバス停名をわかりやすい名称に変更
- コミバス愛称の公募
- キャッチフレーズ、歌、踊りなどコミバスに親しみ・愛着を持てる工夫

運行管理

- 全路線毎日運行
- 地元自治会によるバス利用に対する懇談、ルート設定、バス停管理
- 「バスを考える会」の発足
- 運行事業者との連携強化

利用者サービス

- 定期券、一日乗車券、敬老バスなどの導入
- マイ・ダイヤ窓口（乗り継ぎ、ダイヤ相談窓口）の設定

路線・時刻

- ルート・時刻の改編
- 循環型ルートの設定
- 団地内回遊バスの導入
- 他市拠点への乗り入れ強化、市内拠点整備
- 観光路線の設定（岩屋堂、道の駅など観光拠点周遊）
- デマンドバス、乗合タクシーの導入
- 運行時間の延長（朝・夕便）
- 乗り継ぎ利便性の向上

その他

- 大学の通学バスとの連携
- 市民意識の向上（「みんなで育てる」「まず乗ろう！」）
- 民間資金の活用（地域ファンド、目的別ファンド、個人ファンド）
- バス車両のバリアフリー化（車両サイズは現在で適正）

